

【高校】分散登校における注意事項について

中高一貫校である本校は、県内の様々な地区から幅広い年齢層の生徒が集まり、他校にもまして感染症対策を徹底する必要があります。分散登校の期間についてルールをまとめました。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

<3大原則>

- 1) 37.0度以上の発熱や風邪の症状（咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）が見られる生徒は、自宅での休養を徹底する。
- 2) 検温していない生徒は、教室の中へ入らない。
- 3) 常時マスクを着用する。（登下校時も含む。マスクの色や形状は問わない。）

1 登校前

- 検温等 朝食前に自宅で必ず検温を行い、健康観察表に必要事項を記入する。
- 連絡 欠席する場合、保護者は生徒が指定された登校時間の30分前までに、学校に電話連絡をする。(0776-24-5175)

2 登校時

- 入室 教室へ入る前に必ず消毒液を1プッシュし、手指消毒を行う。
検温を忘れた生徒は、教室に入る前に教室横廊下に置いてある体温計で検温する。
なお、体温計を使用した後は、脱脂綿に消毒液をつけ、きれいにして返却する。
- 健康観察表の提出
登校後に担任へ提出する。

【体調不良を感じた場合】

- 保健室に行き検温する。
- 熱や倦怠感等がある場合には、別室(静養室)で保護者の迎えを待つ。
- ※必ず保護者の迎えをお願いします。

※登下校時は密集・密接を防ぐように行動する。

※時間に遅れてきた場合や早く帰る場合には、担任に申し出る。

3 図書館の利用

- 図書室内では貸出のみを行い、着席しての閲覧は禁止する。読み終えた図書は廊下のボックスへ返却する。

医療従事者や関係機関で働く方への感謝の気持ちを持ち、節度ある行動で感染予防に努め、地域や身近に感染者が出た場合に、憶測で噂をしたり、差別的に扱ったりすることがないようにしましょう。